

**図書館だより**

中央図書館 ☎258-6464  
火～金 10:00～19:00 土、日 10:00～18:00  
竹間沢分館 ☎274-1722  
火～日 11:00～18:00



5月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	6/1	6/2	6/3	6/4

〈中央図書館〉  
♥としよかん・くらぶ ー会員制ー  
(毎月第4土曜日)  
10:10～11:00 1・2年生 35人  
11:10～12:00 3～6年生 50人  
内容/本の読み聞かせとブックトークで本に親しみます。  
申込み/中央図書館で受付中。電話不可。  
定員になり次第締め切ります。

📖ぐりぐらタイム (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)  
第1・3金曜日  
11:00～11:15 6か月～1歳(保護者同伴)  
11:20～11:40 2・3歳(保護者同伴)  
第2・4火曜日 16:00～16:30 3歳～小学生

♣かにかにこそこそ (昔話などを覚えて語る練習会)  
第3水曜日 10:00～12:00 大人対象  
★おはなしはじめのいっばー ー当日参加ー  
～覚えてみたい楽しいお話がいっぱい～  
(小さいお話〈語り〉、手遊び、わらべうた)  
11:00～11:30 語りに興味のある方、聞くだけの方、どなたでも(赤ちゃん連れOK)

〈竹間沢分館〉  
📖ぐりぐらタイム (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)  
第4火曜日  
11:00～11:30 6か月～3歳(保護者同伴)  
◆スイミーおはなし会 (絵本・紙芝居・ブックトーク)  
第4木曜日 16:00～16:30 4歳～小学生

【地域文庫のお知らせ】  
(児童書の貸出、お話会など。)  
つくし文庫・5月21日(土)、10:00～12:00  
場所/上富1区第1集会所にて  
あらた文庫・毎火曜日 15:30～18:00  
場所/荒田自宅にて  
(藤久保536-4 三芳東中学校近く)

【一般書】『サイクリング・ブルース』  
忍野清志郎 著  
小学館 二〇〇六年七月  
請求記号 一般786イマ  
自転車はブルースだ。底抜けに明るく目的地まで運んでくれる。2009年5月に亡くなったロック・ミュージシャン忍野清志郎が、闘病中に自らの自転車生活を紹介したフット・エッセー。

【児童書】『じてんしゃにのるつゆ』(月刊かがくのとも391号)  
横溝英一 著  
福音館書店 二〇一一年一〇月  
請求記号 児童雑誌Z  
お父さんに手伝わってもらい、はじめて補助輪無しで自転車に挑戦するあきらくんのお話。最初にお父さんが補助輪をはずします。さて、どんな練習をするのでしょうか。街で乗るルールも紹介。

☆読み聞かせボランティア講座・初級編 (3回連続)  
\*日程  
・6月1日(水) 午前10時～正午  
・6月8日(水) 午前10時～正午  
・6月22日(水) 午前10時～正午  
\*対象  
幼児～小学生に読み聞かせをしている方。始めようと思っっている方。



【一般書】『これからの自転車読本』  
川口友方ほか 著  
東京地図出版 二〇一〇年三月初版発行  
請求記号 一般786コレ  
まずはサドルを上げてみよう!1万円の自転車でもぐんと面白くなる!と始まる自転車ライフの入門書。「買う」「やる」「遊ぶ」「通う」の視点で、選び方から自転車通勤のノウハウまで紹介。

【一般書】『ママチャリお遍路2000km』  
本田亮 著  
小学館 二〇〇八年七月  
請求記号 一般186ホ  
超多忙なサラリーマンたちが、やっと休暇をとり、四国八十八ヶ所の札所をママチャリで走り切る!果てしない山越え、吹雪の峠越え…。「中年悪ガキオヤジ」たちの筋肉痛ドキュメント。

\*定員 実技講習生25人  
\*会場・申込先  
中央図書館(電話申込可)  
※全回参加できる方及び初心者も優先。希望が多い場合は、傍聴参加枠を設けます。

図書館の本棚 「自転車」の本 別置紹介中 ー5月は自転車月間ー

本年度から全国の小学校において、新学習指導要領が全面実施されました。学習指導要領には、子どもたちが学校で学習することや学び方について学年ごとに示されており、各学校では、これに基づいて授業等が行われています。この新学習指導要領では小学校5、6年生に「外国語活動(英語活動)」を行うことが新たに追加されました。今回は、この外国語



竹間沢小学校での英語活動の様子  
活動についてご紹介いたします。三芳町では、近隣の市町村に先駆け、平成18年度より小学校にも外国人の英語指導助手(ALT)を配置。また、平成20年度より日本人の英語指導員も配置し、独自に外国語活動に取り組んできました。どの小学校でも、子どもたちは英語活動を楽しみにしています。この日は、英語の歌をリズムカルに歌ったり、身近な物の名前をゲーム形式で当てて発音したりしていました。どの子どもたちも英語に自然に触れることができ、生き生きと学習に取り組んでいました。本年度は、さらに日本人の英語指導員を2人増やし、

小学校外国語活動 始まる!  
**教育トピックス**

みよし歴史探訪 文化財を訪ねて 第二回 正徳の庚申塔  
この庚申塔は、正徳四年(一七四四)霜月(旧暦の十一月)に上富村庚申講中十一人により建立されたもの

のです。庚申講とは、六十日に一度巡ってくる庚申の日の夜を寝ずに過ごし、長寿を願う信仰です。この信仰は、人の身中にある三尸という虫を除去して長生に起源します。信仰を仲立ちとした集まりを「講」と呼び、江戸時代、集会を開き酒食に興じることは厳しく制限されていたため、信仰の名目で集える「講」が盛んに行われるようになりました。その信仰の証としての庚申塔が各地に造立され、現在に伝わっているの

庚申塔には燈籠型や墓石型等様々な型式があり、また、像塔や文字塔といった違いもあります。この庚申塔は舟形墓石型の像塔で、邪鬼を踏む一面六臂忿怒形の青面金剛像が浮彫りにされま

五月五日は庚申の日。写实的な浮彫り、質の良い石材、バランスの良い舟形塔という、江戸中期の特徴をよく残す庚申塔を訪ねてみてはいかがでしょうか。

上富のけやき並木通りを南下し、南永井境にほど近い通りの西側に、三基の石造物が祀られています。その中心に据えられているのが、今回紹介する町指定文化財「正徳の庚申塔」です。現在の地に移ったのは、昭和四十九年八月のこと、以前は、けやき並木通りの突き当たり、三基並んで位置していました。

す。六臂の内、正面二手は合掌し、左辺上手に三叉戟、下手に箭、右辺上手に輪、下手に弓を持ちます。また、日輪、月輪と二羽の鶏及び「奉建立庚申待」、紀年銘として「正徳四甲午天霜月吉祥日」と刻まれており、三芳町最古の造立であることがわかります。台座上部には「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿が彫られ、下部に「武州入間郡上富村施主」十一人の名前が刻まれています。



台座上部の三猿(見ざる・言わざる・聞かざる)